

FUJITSU Workstation CELSIUS

CELSIUS R940

BIOS セットアップメニュー 一覧

インテル、およびIntelは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporation
またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
メイン (→P.3)	BIOSやワークステーション本体についての情報が表示されます。 また、日時や言語を設定します。
詳細 (→P.4)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.10)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理 (→P.12)	停電復旧時の動作や、Wakeup on LAN機能などを設定します。
イベントログ (→P.13)	イベントログに関する設定を行います。
起動 (→P.13)	起動時の動作について設定します。
終了 (→P.14)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
 - ・ 次の表は、ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目です。

メニュー	設定項目	
メイン	言語 (Language)	
	システム日付	
	システム時刻	
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定	
起動	起動時のNumLock設定	
	起動時のロゴ表示	
終了	変更を保存して終了する	
	変更を保存せずに終了する	
	変更を保存して終了する (再起動)	
	変更を保存せずに終了する (再起動)	
	保存設定	変更を保存する 変更を保存しない
	ユーザー設定値を保存する	
	ユーザー設定値を読み込む	

メインメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
BIOS情報	
BIOSベンダー	
カスタマイズ	
コア版数	
コンプライアンス	
システム情報	
システムボードおよびファームウェア	
BIOS 版数	
BIOS 日付	
Board GS	
型名	
製造番号	
カスタムメイド番号	
UUID	
LAN デバイス	
LAN 1 MAC Address	
LAN 2 MAC Address	
CPU 詳細	
CPU 名	
マイクロコード版数	
CPU 速度	
キャッシュ容量	
CPU コア数	
スレッド数	

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
メモリ詳細	
メモリ容量／周波数	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 1A	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 2A	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 1B	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 2B	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 1C	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 2C	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 1D	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 2D	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 1E	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 2E	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 1F	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 2F	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 1G	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 2G	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 1H	1MB=1024 ² バイト換算
DIMM 2H	1MB=1024 ² バイト換算
Open Source Software Licence Information	
言語 (Language) ☐ English ☒ 日本語	
システム日付 01/01/1998～12/31/2099	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動
システム時刻 00:00:00～23:59:59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動
アクセスレベル	管理者用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合は「管理者」、ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合は「ユーザー」と表示されます。

詳細メニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
オンボードデバイス設定	
オーディオコントローラ ☐ 使用しない ☒ 使用する	
LAN 1 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
LAN 2 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
拡張スロット状態	
拡張スロット1	
拡張スロット2	
拡張スロット3	
拡張スロット4	
拡張スロット5	
拡張スロット6	
拡張スロット7	
拡張スロット8	
PCI Subsystem設定	
PERR設定 ☒ 使用しない ☐ 使用する	※注1
SERR設定 ☒ 使用しない ☐ 使用する	※注1
PCI Express Link設定	
ASPM Support ☒ 使用しない ☐ L1 Only	※注1
4GB 以上のアドレス空間へのデコード ☒ 使用しない ☐ 使用する	※注1
DMI設定 ☐ GEN 1 ☒ GEN 2	

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
CPU設定	
HTテクノロジー ☐ 使用しない ☒ 使用する	対応CPU搭載時のみ設定可能
アクティブコア 初期値：0	すべてのコアで初期値「0」
Limit CPUID Maximum ☒ 使用しない ☐ 使用する	
Hardware Prefetcher ☒ 使用する ☐ 使用しない	※注1
Adjacent Cache Line Prefetch ☒ 使用する ☐ 使用しない	※注1
DCU Streamer Prefetcher ☒ 使用する ☐ 使用しない	※注1
DCU Ip Prefetcher ☒ 使用する ☐ 使用しない	※注1
Intel Virtualization Technology ☐ 使用しない ☒ 使用する	※注2
VT-d ☒ 使用する ☐ 使用しない	※注2
TXT設定 ☒ 使用しない ☐ 使用する	※注2
Power Technology ☐ 使用しない ☒ Energy Efficient ☐ カスタム	※注1
Enhanced SpeedStep ☐ 使用しない ☒ 使用する	「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
Turbo Mode ☐ 使用しない ☒ 使用する	・対応CPU搭載時のみ設定可能 ・「Power Technology」が「カスタム」かつ「Enhanced SpeedStep」が「使用する」時のみ設定可能 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Override OS Energy Performance ■使用しない □使用する	「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
Energy Performance □Performance ■Balanced Performance □Balanced Energy □Energy Efficient	「Power Technology」が「カスタム」かつ「Override OS Energy Performance」が「使用する」時のみ設定可能 ※注1
CPU C1E Support □使用しない ■使用する	「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
CPU C3 Report ■使用しない □使用する	「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
CPU C6 Report □使用しない ■使用する	「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
Package C State limit □C0 □C2 □C6 ■C6(Retention)	「Power Technology」が「カスタム」時のみ設定可能 ※注1
QPI Link周波数 □6.4 GT/s □8.0 GT/s □9.6 GT/s ■自動	※注1
Uncore Frequency Override ■使用しない □使用する	※注1
ランタイムエラー記録設定	
ECCメモリエラー記録 □使用する ■訂正不可能なエラーのみ □使用しない	※注1
PCIエラー記録 ■使用しない □使用する	※注1
メモリ設定	
NUMA □使用しない ■使用する	
DDR Performance ■Performance optimized □Energy optimized	※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SATA設定	
SATAコントローラ設定	
SATAコントローラ □使用しない ■使用する	※注1
SATA Mode □IDE Mode ■AHCI Mode □RAID Mode	「SATAコントローラ」が「使用する」時のみ設定可能 ※注1
Aggressive Link Power Management □使用しない ■使用する	「SATAコントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
sSATAコントローラ設定	
sSATAコントローラ ■使用する □使用しない	※注1
sSATA Mode □IDE Mode □AHCI Mode ■RAID Mode	「sSATAコントローラ」が「使用する」時のみ設定可能 ※注1
Aggressive Link Power Management □使用しない ■使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
SATA Port 0	
Port 0 □使用しない ■使用する	「SATAコントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「SATAコントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「SATAコントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SATA Port 1	
Port 1 □使用しない ■使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
SATA Port 2	
Port 2 □使用しない ■使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
SATA Port 3	
Port 3 □使用しない ■使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SATA Port 4	
Port 4 □使用しない ■使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
SATA Port 5	
Port 5 □使用しない ■使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「SATA コントローラ」が「使用する」かつ「SATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
sSATA Port 6	
Port 6 □使用しない ■使用する	「sSATA コントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「sSATA コントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「sSATA コントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注 1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
sSATA Port 7	
Port 7 □使用しない ■使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
sSATA Port 8	
Port 8 □使用しない ■使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
sSATA Port 9	
Port 9 □使用しない ■使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
Staggered Spin-up ■使用しない □使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1
Hot Plug ■使用しない □使用する	「sSATAコントローラ」が「使用する」かつ「sSATA Mode」が「AHCI Mode」または「RAID Mode」時のみ設定可能 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
SMART設定	
SMART診断 □使用しない ■使用する	
Acoustic Management設定	※注1
互換性サポートモジュール設定	
互換性サポートモジュール □使用する ■使用しない	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能
起動モード ■UEFIとLegacy	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ表示
ネットワークからの起動 □使用しない □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能
起動時のストレージ用オプションROM □使用しない □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能
起動時のビデオ用オプションROM □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能
起動時のその他のオプションROM □UEFIのみ起動 ■Legacyのみ起動	「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能
TPM（セキュリティチップ）設定	
TPM（セキュリティチップ）設定	
セキュリティチップ □無効にする ■有効にする	
TPM状態の変更 ■無効にする □有効にする	・「セキュリティチップ」が「有効にする」時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「セキュリティチップの設定を変更する」をご覧ください。 ・Windows 8.1の場合、Windowsのセットアップ後の再起動時に「有効にする」に設定されます。
TPM状態の変更内容 ■変更しない □Enable Take Ownership □Disable Take Ownership □クリアする	・「セキュリティチップ」が「有効にする」かつ「TPM状態の変更」が「有効にする」時のみ設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「セキュリティチップの設定を変更する」をご覧ください。

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
現在のTPMの状態	
TPM Enabled Status	「セキュリティチップ」が「有効にする」時のみ表示
TPM Active Status	「セキュリティチップ」が「有効にする」時のみ表示
TPM Owner Status	「セキュリティチップ」が「有効にする」時のみ表示
USB設定	
USB設定	
xHCI モード □Smart Auto ■自動 □使用する □使用しない	本設定を「使用しない」に設定すると、USB3.0ポートはUSB2.0ポートとして機能します。
USBレガシーサポート ■使用する □使用しない □自動	
マストレージデバイス ■自動 □Floppy □Force FDD □Hard Disk □CD-ROM	接続された各USBデバイスごとに設定可能
USBポートセキュリティ	
USBポート設定 ■全て有効 □全て無効 □前面と内部のみ有効 □背面と内部のみ有効 □内部のみ有効 □使用中ポートのみ有効	
USBデバイス設定 ■全てのデバイス □キーボード/マウスのみ □ストレージとHub以外	「USBポート設定」が「前面と内部のみ有効」／「背面と内部のみ有効」／「使用中ポートのみ有効」時のみ設定可能
System Management	
システム名	
ファームウェア版数	
SMCS版数	
FAN制御 □Enhanced ■自動 □Full	
Watchdog Timeout 初期値：0	・1～255 ・単位：分

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
温度	
PECI CPU0	・温度センサー（CPU内蔵）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
PECI CPU1	・温度センサー（CPU内蔵）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
Core	・温度センサー（Core）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
MEM AB	・温度センサー（MEM AB）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
MEM CD	・温度センサー（MEM CD）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
MEM EF	・温度センサー（MEM EF）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
MEM GH	・温度センサー（MEM GH）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
PCIe Slot1	・温度センサー（PCIe SLOT1）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
PCIe Slot2	・温度センサー（PCIe SLOT2）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
Front	・温度センサー（Front）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
Teutates	・温度センサー（チップ内蔵）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
Birog	・温度センサー（チップ内蔵）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
PCH	・温度センサー（チップセット内部）の現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
FAN	
Fan1	・HDD FANの現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
Fan2	・CPU1 FANの現在の状態 ・『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
Fan4/PS	PSU FAN（電源ユニットに搭載）の現在の状態

□選択肢 ■初期値

設定項目		備考
	Fan5	・ REAR FANの現在の状態 ・ 『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
	Fan6	・ SIDE FANの現在の状態 ・ 『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
	Fan7	・ SLOT CARD FANの現在の状態 ・ 『製品ガイド』の「1章 各部名称」をご覧ください。
電圧		
	VCC 3.3V	
	3.3V AUX	
	V_IN (12V)	
	VBAT 3.0V	
シリアルポートコンソール リダイレクション設定		
コンソールリダイレクション設定		インテルvPro/AMTに対するコンソールリダイレクションに関する設定です
コンソールタイプ □VT100 □VT100+ □VT-UTF8 ■ANSI		
Bits per second □9600 □19200 □38400 □57600 ■115200		
Data Bits □7 ■8		
Parity ■None □Even □Odd □Mark □Space		
Stop Bits ■1 □2		
Flow Control ■None □Hardware RTS/CTS		

□選択肢 ■初期値

設定項目		備考
AMT設定		
ME版数		
AMT/ME設定のクリア ■使用しない □使用する		
MEセットアップ ■Nomal □Enter MEBx Setup		
IFR設定 ■使用しない □使用する		
ネットワークスタック		
ネットワークスタック □使用しない □使用する		・ Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。 ・ 「標準設定値を読み込む」を実行すると、「使用しない」に設定されます。
IPv4環境での起動 □使用しない ■使用する		「ネットワークスタック」が「使用する」時のみ設定可能
IPv6環境での起動 □使用しない ■使用する		「ネットワークスタック」が「使用する」時のみ設定可能
オプションROM設定		
拡張スロット1のオプションROM □使用しない ■使用する		
拡張スロット2のオプションROM □使用しない ■使用する		
拡張スロット3のオプションROM □使用しない ■使用する		
拡張スロット4のオプションROM □使用しない ■使用する		
拡張スロット5のオプションROM □使用しない ■使用する		
拡張スロット6のオプションROM □使用しない ■使用する		
拡張スロット7のオプションROM □使用しない ■使用する		
拡張スロット8のオプションROM □使用しない ■使用する		

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Intel(R) Ethernet Connection I217-LM	オンボードLAN1デバイスのオプションROMに関するサブメニューです ※注1
Intel(R) I210 Gigabit Network Connection	オンボードLAN2デバイスのオプションROMに関するサブメニューです ※注1
Intel RSTe sSATA Controller	オンボードSATA-RAIDコントローラのオプションROMに関するサブメニューです。 ・「セキュアブート機能」が「使用する」時のみ設定可能 ※注1
UEFIドライバの状態	

注1：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

注2：本ワークステーションにこの機能の動作が確認されたソフトウェアを搭載していない場合は、「使用しない」に設定してください。「使用する」に設定した場合の動作保証はできません。

セキュリティメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード設定	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザー用パスワード設定	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
WOL時のパスワードスキップ ■使用しない □使用する	・使用しない…WoL機能での起動時に、パスワード入力 を求める ・使用する…WoL機能での起動時に、パスワード入力を 求めない ・「ユーザー用パスワード」を設定した場合に設定可能 ※注1
フラッシュメモリへの書き込み □使用しない ■使用する	
カバー開放検出 ■使用しない □使用する	・「管理者用パスワード」を設定した場合に使用可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
起動時のパスワード入力 ■毎回 □使用しない	・毎回…本ワークステーション起動時に、パスワード入 力を求める ・使用しない…本ワークステーション起動時に、パス ワード入力を求めない ・「ユーザー用パスワード」を設定した場合に設定可能 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
起動時のHDDパスワード入力 ■使用する □使用しない	・使用する…本ワークステーション起動時に、ハード ディスクパスワード入力を求める ・使用しない…本ワークステーション起動時に、ハード ディスクパスワード入力を求めない ・再起動時は本設定に関係なくパスワード入力の要求は なし ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
[ハードディスクドライブ名]	・ハードディスクセキュリティに対応したハードディス ク搭載時のみ表示 ・『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ハードディスクセキュリティ設定	
Security Supported	設定状況を表示
Security Enabled	設定状況を表示
Security Locked	設定状況を表示
Security Frozen	設定状況を表示
ユーザーパスワードの状態	設定状況を表示
マスターパスワードの状態	設定状況を表示
ユーザーパスワード設定	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合のみ設定可能。再起動後は表示されません。
セキュアブート設定	
署名情報の保護	・ 設定状態を表示 ・ 「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザーモード）」が表示されます。
セキュアブート	・ 設定状態を表示 ・ 「セキュアブート機能」が「使用する」時に「使用する」、「セキュアブート機能」が「使用しない」時に「使用しない」と表示されます。
セキュアブート機能 □使用しない □使用する	・ Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。 ・ 「標準設定値を読み込む」を実行すると、「使用しない」に設定されます。 ・ 本設定を変更して再起動すると、「起動デバイスの優先順位」が変更されます。必要に応じて起動順位を設定し直してください。 ※注2 ※注3
署名情報設定 ■標準 □カスタム	
署名情報の管理	
署名情報の初期化 □使用しない ■使用する	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
署名情報の初期化	「署名情報設定」が「カスタム」時かつ「署名情報の初期化」が「使用する」時のみ表示および設定可能
署名情報の削除	「署名情報設定」が「カスタム」時かつ「署名情報の初期化」が「使用しない」時のみ表示および設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
キーの保存	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
Platform Key (PK)	
PKの削除	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
PKの新規登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
Key Exchange Key Database (KEK)	
KEKの削除	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
KEKの新規登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
KEKへの追加登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
Authorized Signature Database (DB)	
DBの削除	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBの新規登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBへの追加登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
Authorized Time Stamps (DBT)	
DBTの削除	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBTの新規登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBTの追加登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
Forbidden Signature Database (DBX)	
DBXの削除	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBXの新規登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能
DBXへの追加登録	「署名情報設定」が「カスタム」時のみ設定可能

注1：WoL時にハードディスクパスワードの入力をスキップすることはできません。

注2：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 8（UEFIモード）以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」などのメッセージが表示されます。

注3：Windows 8.1のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 8.1を起動します。
- 2 **[F2]** + **[C]** キーを押すか、チャームを表示します。
- 3 「検索」をクリックし、「msinfo32」と入力して **[Enter]** キーを押します。
「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
電源管理設定	
電源オン設定 ■BIOS制御 □ACPI制御	
電源オフ時の電源供給停止 ■使用しない □使用する	※注1
AC通電再開時の動作 □電源OFF □電源ON ■自動 □使用しない	・設定変更は再起動後に有効 ・電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、Wolなどを初期化。その後電源OFF。 ・自動…電源断発生時の状態による。 起動中、スリープは「電源ON」 シャットダウン、休止状態は「電源OFF」 ※注2
S4時の電源管理 ■使用しない □使用する	※注1
電源オフ時のUSB電源供給 ■電源OFF □電源ON	「電源オフ時の電源供給停止」が「使用しない」時のみ設定可能 ※注1
ウェイクアップ設定	
LAN □使用しない ■使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注3 ※注4 ※注5 『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「Wakeup on LANを有効にする」をご覧ください。
LANによるウェイクアップ後の起動 ■起動順位に従う □ネットワークから起動する	「LAN」が「使用する」時のみ設定可能
時刻 ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注3 ※注4 ※注6
時 0～23	「時刻」が「使用する」時のみ設定可能
分 0～59	「時刻」が「使用する」時のみ設定可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
秒 0～59	「時刻」が「使用する」時のみ設定可能
モード □毎週 ■毎日 □毎月	「時刻」が「使用する」時のみ設定可能
日曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
月曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
火曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
水曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
木曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
金曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
土曜日 □使用する ■使用しない	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎週」時のみ設定可能
日 1～31	「時刻」が「使用する」および「モード」が「毎月」時のみ設定可能
USBキーボード ■使用しない □使用する	「電源オフ時のUSB電源供給」が「電源ON」時のみ設定可能 ※注1

注1：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

注2：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。ただし、「電源ON」設定時に、本ワークステーションの電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本ワークステーションの電源が投入されることがあります。

注3：Windows 8.1の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。

注4：「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本ワークステーションの電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。

注5：省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。Windowsのデバイスマネージャーでの設定が必要です。

注6：省電力状態（スリープ、休止状態）からレジューム（復帰）させることはできません。Windowsのタスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

イベントログメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
イベントログ設定	
イベントログ設定 ☐ イベントログ ☐ 使用しない ☒ 使用する	
イベントログ消去設定	
イベントログの消去 ☒ いいえ ☐ 次回起動時に消去します ☐ 毎回起動時に消去します	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「イベントログを消去する」をご覧ください。
イベントログフル ☒ 何もしない ☐ すぐに消去する	
イベントログ内容設定	
起動イベントの記録 ☐ 使用する ☒ 使用しない	
MECI 初期値：1	1～255 ※注
METW 初期値：60	0～99 ※注
カスタム設定	
カスタム定義ログ ☐ 使用しない ☒ 使用する	※注
カスタム定義ログの変換 ☒ 使用しない ☐ 使用する	※注
イベントログの表示	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「イベントログを確認する」をご覧ください。

注：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

起動メニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
起動設定	
起動時のNumLock設定 ☐ On ☒ Off	Windowsログオン後は前回終了時の状態になる
起動時のロゴ表示 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
ハードウェアの状態表示 ☒ 使用しない ☐ 使用する	
プライマリディスプレイ ☐ Slot 1 ☐ Slot 2 ☐ Slot 3 ☐ Slot 4 ☐ Slot 5 ☒ Slot 6 ☐ Slot 7	
起動エラー時の動作 ☒ 起動を続ける ☐ キー押下まで待つ	
リムーバブルメディアからの起動 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
Virus Warning ☐ 使用する ☒ 使用しない	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	- OSを読み込むデバイスの優先順位を設定※注2 『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「起動デバイスを変更する」をご覧ください。
Boot Option #n	nは起動の順位を示す。 - Windows 7の場合、ご購入時は次のように設定されています。 #1: [HDD デバイス名] #2: [CD/DVD ドライブ名] #3: [LAN1 デバイス名] #4: [LAN2 デバイス名] - Windows 8.1の場合、ご購入時は次のように設定されています。 #1: Windows Boot Manager #2: UEFI: [CD/DVD デバイス名] #3: UEFI: IPv4 [LAN1 デバイス名] #4: UEFI: IPv6 [LAN1 デバイス名] #5: UEFI: IPv4 [LAN2 デバイス名] #6: UEFI: IPv6 [LAN2 デバイス名] - カスタムメイドオプションおよびお使いの状況によって起動順位が異なります。 「CD/DVD ドライブ」はCD/DVD デバイスが接続されている場合に表示されます。 「UEFI: [CD/DVD デバイス名]」は、UEFI 起動可能なディスクをセットしている場合に表示されます。 - UEFI 起動デバイスから起動する場合は、BIOS 起動デバイスより上位に設定してください。 - 起動ドライブまたはディスクを交換すると、その順位が初期化され、最下位に追加されます。 - UEFI アプリケーションが優先順位を変更することがあります。

注1：本設定を「使用しない」に設定しても、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。

注2：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存せずに終了する（再起動）	
保存設定	
変更を保存する	
変更を保存しない	
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 - 言語 (Language) - システム日付 - システム時刻 - 管理者用パスワード - ユーザー用パスワード - ハードディスクパスワード - 起動デバイスの優先順位 『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「ご購入時の設定に戻す」をご覧ください。
ユーザー設定値を保存する	
ユーザー設定値を読み込む	
強制起動	
起動デバイス名	